

令和4年度

事務事業評価表 (令和3年度 の実績評価)

記入年月日
令和4年4月1日

事務事業名		橋梁定期点検				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050302000975
						単独/補助	補助	所属課	060101
政策体系		政策体系上の位置付け						課長名	建設課
総合計画の施策名		0503 道路網の整備						グループ	建設グループ
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり						担当者名	
施策名		03 道路網の整備							
手段名		02 ②市道の危険箇所の整備							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	08	02	01	01	00	単年度繰返し (平成26年度~)		
法令根拠						道路橋梁総務事業			
道路法施行規則の一部を改正する省令(平成26年度国土交通省令第39号)、トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示(平成26年度国土交通省令第426号)						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】高度成長期に集中的に建設された橋梁は、老朽化が進行しており効率的に維持管理していくことが求められている。実際に平成24年12月には笹子トンネルで大きな崩落事故もあり、インフラの維持管理は早急な課題である。それらのことを受け国土交通省より、平成26年7月1日から2m以上のすべての橋梁に対して5年に一度の定期点検が義務化され、桜川市でも平成30年までに2m以上のすべての橋梁について点検を実施する必要がある。</p> <p>桜川市では、2m以上の橋梁が369橋あり、平成27年より平均99橋の点検を実施し、平成30年までに全ての橋梁について点検します。そしてその後継続的に点検及び問題のある橋梁の修繕を実施する。</p>	<p>市内の橋梁を把握し、2m以上のすべての橋梁について5年に一度の定期点検を行い、修繕の必要性、補修の優先順位を検討する。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
2m以上の橋梁369橋が定期点検の対象であり、平成27年より平均99橋の点検を実施、平成30年までにすべての橋梁について点検します。そしてその後も継続的に点検を行い、補修工事の必要箇所について検討していく。	2m以上の橋梁数	橋	369.00	369.00	369.00	369.00	369.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
市内の橋梁	点検を終えた橋梁数	橋	58.00	96.00	260.00	369.00	50.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
橋梁の破損状況を確認し、補修の必要性など状態を把握する。	修繕を終えた橋梁数(Ⅲ判定)	橋	9.00	23.00	36.00	42.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	02年度 (実績)	9,300	03年度 (実績)	4,774	04年度 (計画)	18,268	05年度 (目標)		06年度 (目標)		期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0								
			地方債	千円	0	0	0								
			使用料・手数料	千円	0	0	0								
			その他	千円	0	0	0								
			一般財源	千円	9,180	4,642	20,612								
			事業費計(A)	千円	18,480	9,416	38,880								
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人										

事業費の内訳	03年度事業費 実績(千円)				04年度事業費 予算(千円)			
	12 委託料	8,987			12 委託料	38,000		
	13 使用料及び賃借料	429			13 使用料及び賃借料	880		
			合計	9,416			合計	38,880

事務事業名	橋梁定期点検	事務事業No.	50302000975	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
橋梁等の道路構造物が急速に老朽化していくことを踏まえ、各道路管理者の責任による点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルを確立するため、道路法施行令第35条の2第2項の規定に基づき、道路法施行規則において、道路の維持・修繕に関する具体的な基準等を定めるため、「道路法施行規則の一部を改正する省令」及び「トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示」を平成26年3月31日に公布され、同年7月1日より施行された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
「メンテナンスサイクルを構成する点検・診断・措置・記録は各道路管理者の責任であること」「点検は、国が定める統一的な基準によって、5年に一度、近接目視による全数監視を実施すること」との学識経験者等から意見が寄せられた。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 良好な管理の下に未永く利用できることは、安全かつ円滑な交通の確保に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市が管理する橋梁であり、管理者である市が行うことは妥当である。また、橋梁の変化についての情報も管理者が把握するなどの点からも市が行うべきである。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 道路法の改正、省令・告示の施行により、橋梁の点検は、「近接目視により5年に1回の点検」が義務付けとなり、国土交通省による国費の支援制度を利用するため、現在計画が最適な手段である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 義務化された点検でもあり、道路管理者の責任として廃止することはできない。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 橋梁の点検であり、類似事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 橋長が短い橋梁については、直営点検による対応が考えられる。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の橋梁(橋長2m以上)を対象とし、一部に偏ることはない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和元年度より15m以上の橋梁は業務委託で、2m~15mは直営点検で行う事とし橋梁点検システム等を導入して体制を整えたが、維持補修対応で業務過多となり目標の進捗には達しなかった。																													
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性																															
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持																															
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																													
課題 ・研修などを通じ知識を習得していく必要がある。 ・他業務との時間の調整が必要である。 解決策 ・点検士及び技術職の増員		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下	向上				維持			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持	○																													
低下	向上																														
	維持																														
(6) 事務事業優先度評価結果		①																													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>